

第48回県民フォーラム意見等への県の回答(アンケート)

	意見内容	回答
1	シカ対策、水の流出について、具体的にしている事が知りたかったです。	<p>シカの生息密度を低減し、林床植生の衰退を防止するため、猟犬を用いた巻狩り（組猟）やワイルドライフレンジャーにより、中高標高域での管理捕獲を行っているほか、シカの採食圧から植生を保護する柵を設置することで植生の回復および土壌保全を図っています。</p> <p>また、順応的管理の考え方に基づき、事業実施と並行してモニタリング調査を実施しており、対照流域法調査では、数haの小流域をペアで設け、片方のみ整備して降水量、流量、水の濁りを連続測定し、水や土砂の流出の違いを中長期的に把握しています。</p>
3	水源環境保全・再生事業が終わってしまったら、また森林が荒廃してしまわないか心配なのですが、その後に何か計画をしているなら教えてください。	<p>大綱期間終了後については、第4期計画期間中に、有識者や環境・林業の分野における関係団体、公募委員等で構成する「水源環境保全・再生かながわ県民会議」から、これまでの取組に対する総合的な評価と、大綱終了後に向けた意見をいただきます。併せて、県民の皆様や県議会、市町村等からも御意見を伺いながら、県として取組を検証し、今後の施策の方向性を検討していきたいと考えています。</p>
4	県民参加形式の、自然保全活動について、もっと企画、発信して欲しい。	<p>本県では、(公財)かながわトラストみどり財団と協力し、森林ボランティア活動を推進しています。</p> <p>いただいたご意見については、当該財団とも共有し、今後の活動の参考とさせていただきます。</p>
10	オール流域での順応型ガバナンスがてんかいはされることを望んでいます。20年間の取り組みが終わった後、それをどのように自立させていくか検討されているのか知りたいです。	<p>大綱期間終了後については、第4期計画期間中に、有識者や環境・林業の分野における関係団体、公募委員等で構成する「水源環境保全・再生かながわ県民会議」から、これまでの取組に対する総合的な評価と、大綱終了後に向けた意見をいただきます。併せて、県民の皆様や県議会、市町村等からも御意見を伺いながら、県として取組を検証し、今後の施策の方向性を検討していきたいと考えています。</p>

	意見内容	回答
11	<p>森林（山）水源林、涵養林地帯の再生（害獣管理も含め）を地道に進めていき、林松が豊かで、涵養機能を発揮できる豊かな混交林を再生利用していきけるように、広報的面も進め、時間と意識を持った中高年層も弱体視せずに力を集結してもらえるようにボランティア活動のコーディネート化できるとよいと思う。水源林のための税金についても、適正な使用が継続してできるよう、情報公開を進めるべきと思う。地域を支えられる森林、管理捕獲からの畜産系の産業が地域活性化のために起こせるような施策の支援も考えていけるといいと思う。水源に当たる山林が私有地で海外資本の手に渡ることのないような、法・条例整備や所有者の啓発を進めてほしい。</p>	<p>様々な視点からの意見をありがとうございました。水源環境保全・再生は県民の皆様から特別な負担を頂いて実施していることから引き続き、用途の明確化、実績の公表等に努めます。また、森林の公益的機能の発揮のためには森林所有者を始め、施策に対する県民理解が不可欠なことから今後も県民の意志を基盤とした施策推進に努めてまいります。</p>
19	<p>山登りが好きです。最近では登山道の森林が間伐で整備されているのを実際目で見えています。市で取り組んでいるのかな？と思っていましたが、今日のセミナーで全て結びつきました。里山作りや野鳥を守りたいという気持ちは強いです。河川は、海へ続いていて、河川に含まれている鉄分は海のプランクトンやこんぶ、ワカメの再生にも重要な成分です。光合成により酸素を作り出してくれます。固定酸素に繋がります。地球温暖化対策に繋がります。</p>	<p>今回、初めてオンラインで実施したため、プログラム等について、試行錯誤の段階ですが、視聴者の皆様からのご感想ありがとうございました。いただいた御感想を参考に、水源環境の保全・再生に向け、引き続き、第4期計画の取組を進めてまいります。</p>
23	<p>畜産業に従事する者ですが、小山町の鮎沢川流域に世界最大規模のサーモンの養殖場が出来ると聞きました。県として、事業者へ調査ヒアリングする機会を設けるべきだと考えます。水質汚濁防止法が出来た当時から比べ、畜産や養魚などの産業規模が百倍以上になっている今、業界の健全な発展のためにも、栄養塩の排出の総量規制基準を新たに整備するなど、法的にも現代の産業規模に対する対応がなされるべきだと考えます。</p>	<p>本県としては、県所管域における酒匂川の水質常時監視を継続するとともに、当該養殖場が所在する静岡県を通じて情報収集を行ってまいります。また、産業規模に応じた新たな水質規制については、全国に共通する課題であり、国において、産業や環境の変化に対応した水質汚濁防止法等での取扱いが検討されるものと考えています。</p>

	意見内容	回答
25	今後より重要となる水資源の確保と保全について、更に積極的に関与していかねばならないので、引き続きの補助と支援が必要。	大綱期間終了後については、第4期計画期間中に、有識者や環境・林業の分野における関係団体、公募委員等で構成する「水源環境保全・再生かながわ県民会議」から、これまでの取組に対する総合的な評価と、大綱終了後に向けた意見をいただきます。併せて、県民の皆様や県議会、市町村等からも御意見を伺いながら、県として取組を検証し、今後の施策の方向性を検討していきたいと考えています。
27	侵入竹林、放置竹林が森林を侵食していることについても、もっと多くの人に知ってもらいたいと思います。今回中学生のうちから間伐などの山仕事を体験したことで、山に関わるハードルが下がっている方々がたくさんいることを知り希望を感じました。山や森林に関心を持ち関わる人がさらに増えてゆくことを期待しています。	令和4年度からは、Twitterによる広報の取組を始めました。今後も、水源環境保全・再生施策の県民理解がより一層促進されるよう、様々な広報を工夫していきます。
29	県民が参加出来る、自然保全活動の更なる企画と、その情報発信を希望します。(参加の機会を増やすため、年度内の単発イベントでなく、複数回あると良いのではないのでしょうか)	本県では、(公財)かながわトラストみどり財団と協力し、森林ボランティア活動を推進しています。いただいたご意見については、当該財団とも共有し、今後の活動の参考とさせていただきます。
30	当該分野の情報分析及び情報発信の仕組み。現状県民の殆どに認知されていない。私もたまたま知り合いの市民団体の方からお聞きして参加。	令和4年度からは、Twitterによる広報の取組を始めました。今後も、水源環境保全・再生施策の県民理解がより一層促進されるよう、様々な広報を工夫していきます。

	意見内容	回答
32	<p>水源林保全の中で「鹿」対策が取り上げられませんでした。近年増加して被害も比例していると聞きました。防護柵を徹底して作るか、ハンターにより駆除するしか選択肢は無いので中途半端な対策は意味がないと思います。</p>	<p>シカ管理による林床植生の衰退防止については、猟犬を用いた巻狩り（組猟）に加え、ワイルドライフレンジャーによる中高標高域での管理捕獲の実施や森林整備と連携したシカ管理捕獲の実施により、シカの生息密度が低下した森林では林床植生の回復が見られています。また、シカの採食圧から植生を保護する柵を設置し、植生の回復及び土壌保全を図ることで、柵内で稚樹の成長も見られています。</p> <p>これまでの取組成果を踏まえながら、引き続き、稜線部や水源林整備地周辺等におけるシカの低密度化、低密度状態の維持のための管理捕獲を継続・強化するとともに、植生保護柵など土壌保全対策を進めてまいります。</p>
33	<p>パネリストからの意見のとおり通り水源環境の保全は生態系を含む神奈川県の高い自然となにより私たちの命を守る活動なので、第4期かながわ水源環境保全・再生5か年計画の満了をもって神奈川県役を終えるのではなく、引き続き事業を継続してください。</p>	<p>大綱期間終了後については、第4期計画期間中に、有識者や環境・林業の分野における関係団体、公募委員等で構成する「水源環境保全・再生かながわ県民会議」から、これまでの取組に対する総合的な評価と、大綱終了後に向けた意見をいただきます。併せて、県民の皆様や県議会、市町村等からも御意見を伺いながら、県として取組を検証し、今後の施策の方向性を検討していきたいと考えています。</p>
34	<p>普段あまり意識しないですが、水源環境の保全が大切だと気付かされました。</p>	<p>今回、初めてオンラインで実施したため、プログラム等について、試行錯誤の段階ですが、視聴者の皆様からのご感想ありがとうございます。</p> <p>いただいた御感想を参考に、水源環境の保全・再生に向け、引き続き、第4期計画の取組を進めてまいります。</p>

	意見内容	回答
35	<p>県立21世紀の森やそこで活動している団体が森林・水源の保全活動、啓発を行っております。今回、視聴させていただきましたが、関連が見受けられませんでした。何か理由があるのでしょうか。</p>	<p>県では、県立21世紀や、やどりき水源林等、ボランティア活動に適した森林を複数箇所「ボランティア林」として選定し、活動を推進しています。 今回は、やどりき水源林で活動している企業を紹介させていただきました。</p>
36	<p>森林の成長の仕組みが、普段、自分が花や植木の栽培の世話と同様に花、植木が森林に変わったものと気づかされ、鉢花の手入れの規模が大きくなったものと考えればよいのだと思った。 森林の伐採→太陽の光→葉の光合成。雨（＝たっぷりの水やり）→土の水分補給と浄化（細菌を落とす役割も含む）→根が生える→木の成長→実をつける（動物の食料）。今回の参加で、水源環境について教えられたり、気づかされたりしました。ありがとうございました。</p>	<p>今回、初めてオンラインで実施したため、プログラム等について、試行錯誤の段階ですが、視聴者の皆様からのご感想ありがとうございます。 いただいた御感想を参考に、水源環境の保全・再生に向け、引き続き、第4期計画の取組を進めてまいります。</p>
38	<p>ヨコハマ海洋市民大学という実行委員会による講座を主催しています（今年度は9期め）。海好きが海を通して見つけた社会課題を自ら解決する人になることを目標としています。海は海だけでその環境を語るできません。水源となる河川や森林の環境と一体で考える必要があるからです。活動発表の方も言及されていましたが、独立した活動だけではなくそのプラットフォームが必要とされています。県には河川は県、海岸線は国といった管理権限を乗り越えてそのプラットフォームになっていただきたいです。</p>	<p>県では、水源環境保全・再生に係る県民主体の取組の推進を図るため、市民団体等の事業を支援しております。財政面以外での支援についても提言を頂き、団体相互のネットワークづくりによる市民事業の拡大・拡充を目的として、市民事業交流会を開催しております。 近年の新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、対面での交流会は中止を余儀なくされてきましたが、最近の動向を踏まえて、市民事業活動支援に取り組んでまいります。</p>

	意見内容	回答
39	<p>当日の資料を良く見たいのですが、どこを見れば良いのか教えてください。フォーラムの案内メールや県民会議のページには見当たらないので。また、事前に説明資料を見ておきたいと思いました</p>	<p>当日配布した資料はありませんが、当日の動画を配信しております。<a href="http://www.pref.kanagawa.jp/docs/pb5/cnt/f7006/p525343.html">http://www.pref.kanagawa.jp/docs/pb5/cnt/f7006/p525343.html</a> 資料の事前配布につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
40	<p>森林資源や水産資源を活かす視点からの保全・再生もテーマに入れて欲しい。</p>	<p>水源環境保全税については、その導入にあたり、水源環境を直接的に保全・再生できる事業に活用することとなっております。いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>